

とくだね



「夏椿」 撮影:徳田 元

目次

| | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ◆医師紹介／第24回院内研究発表会開催 …………… 2 | ◆2階病棟の紹介 …………… 6 |
| ◆当院の診療、手術実績について …………… 3 | ◆新入職員入社式、オリエンテーションを行いました。 …… 7 |
| ◆令和3年度 セーフティマネジメント部会の活動報告 …… 4 | ◆火災訓練について／外来診療予定表 …………… 8 |
| ◆通所リハビリテーションのご案内 …………… 5 | |

医療法人秋津会

〽 理念 〽

地域と共生し、活力ある医療をめざします。

〽 基本方針 〽

- 一、 脳疾患の急性期医療を充実させ地域住民の救急救命に貢献します。
- 一、 地域医療連携を深め患者様の社会生活・在宅復帰を支援します。
- 一、 患者様の権利を尊重し、説明と同意に基づいた安心と満足の医療を提供します。
- 一、 職員の職業倫理、法令遵守の精神を涵養して組織を支える人材の育成に努めます。

〽 職業倫理規定 〽

当院職員は、医療人としての社会的使命、職責の重大性を認識し、当院すべての職種に求められる職業倫理を以下のように定めます。

- 一、 医療を受ける患者様の権利と人格を常に尊重します。
- 一、 ホスピタリティの心で患者様の立場に立ち信頼されるように務めます。
- 一、 知識と技術の習得向上のために、常に生涯学習を行います。
- 一、 他職種との相互尊重で協力関係を保ちチーム医療を向上させます。
- 一、 医療の公共性と安全性を重んじ、法規範を遵守した運営に努めます。

〽 患者様の権利と責務 〽

- 一、 公平な医療を受ける権利
- 一、 十分な説明を受ける権利
- 一、 医療に関して自ら決定する権利
- 一、 個人情報保護と開示を求める権利
- 一、 当院の最善の医療を受ける権利
- 一、 良い治療のために私たち医療従事者と協力する責務



医師
原田 圭輔

本年4月1日より徳田脳神経外科病院に赴任いたしました。私とした原田圭輔と申します。私の出身は山口県で、小学校、中学校、高校、大学、研修医と山口県で過ごしました。しかし、2年間の研修医生活を終え、脳神経外科の道へ進むと決めた時、地元山口県で脳神経外科の研鑽を積むのではなく、研修していた下関医療センターと関連のある熊本大学脳神経外科に入局させてもらうこととしました。もちろん山口県を離れて他県で生活することは初めての経験であり、まさか自分が地元から遠く離れた鹿児島で働くなどとは想像していませんでした。鹿屋市は南国であり、こちらに来た際は4月とは思えないほど温暖で、非常に過ごしやすい印象です。また、鹿屋は魚

肉、焼酎などグルメな街であり、おいしい飲食店などが多いと聞いています。私はビールを飲むことが多いのですが、休暇の日には鹿児島のグルメをつまみに焼酎にもチャレンジしていきたいです。

徳田脳神経外科は、私たち熊本大学病院の若手医局員の中では非常に人気のある病院です。スタッフの皆さんをはじめ、病院として非常に働きやすい雰囲気、環境であり日々の診療の中で脳外科医として非常に多くのことを学べると思っております。日々の診療の中で経験豊富で頼りになる上級医の先生方から脳神経外科医としてだけでなく、医師としてのあり方を学び、精進していく所存です。現在医師として5年目に突入したばかりであり、若輩ゆえに至らぬ点もあるかと思いますが、大隅半島の脳神経外科診療の中心である徳田脳神経外科で質の高い医療を提供できるよう頑張つて参りますので、何卒よろしく願います。

第24回院内研究発表会開催

6月23日(木)、院内研究発表会を開催しました。

院内研究発表会とは、各部署の業務への取組や、患者様の症例を様々な視点から分析研究し発表する毎年恒例の院内行事の1つです。

今年は4演題が発表されましたが、担当部署はそれぞれの研究テーマに沿って準備を進めることで、業務の振り返りや今後に活かせる点を再認識する機会となり、また発表を聞いた参加者にとっても、他部署の取り組みを知ることで、部署間の連携が深まる良い機会になりました。日々同じ場所で働いているとはいえ、普段関わりの少ない部門の業務について意外と知らないことも多く、参加した職員から多くの質問も飛び交い有意義な発表会となりました。得られた研究結果は職員全体で共有することでより良い医療サービスの提供に繋がるように、今後も継続してまいります。



| 演 題 | 発表部署 |
|--|------------|
| 「脳ドッグ受診者の増加に向けて ～新病院における収益向上対策?～」 | 事務部 |
| 「外来看護師による患者の重症度と優先度の見極めを行うために —フローチャートを作成して—」 | 外来看護部 |
| 「重症者改善に向けての検討 ～当院における日常生活機能評価の傾向から」 | リハビリテーション室 |
| 「てんかん患者のMRI撮像方法の検討・実際の撮像方法、撮像画像について」 | 放射線科 |



当院の診療、手術実績について

令和3年1月1日～12月31日までの
外来・入院患者様の診療、手術実績についてご報告致します。

【診療実績】

| | 実績 | コメント |
|-----------|--------------|--|
| 1日平均外来患者数 | 82.0名 | 年間の外来患者様の人数を診療日数で割り、1日平均の外来患者数を示しています。 |
| 1日平均入院患者数 | 66.0人 | 年間の延べ入院患者数を診療日数で割り、1日平均の入院患者数を示しています。 |
| 平均在院日数 | (急性期) 15.00日 | 病院全体で1人1人の患者様の平均的な入院日数を示しています。病気を発症した直後の急性期と、リハビリを主に行う回復期では日数に違いがあります。 |
| | (回復期) 53.22日 | |
| 平均病床稼働率 | (急性期) 91.78% | 病床が効率的に稼働しているかを示す指標です。100%に近いほど空床が無い状態となりますが、当院は急性期医療を専門とするため、常に利用可能な病床を確保する必要があります。 |
| | (回復期) 96.88% | |
| 救急患者実績 | 768名 | 日中、夜間、休日に救急車を利用して来院された患者数 |

【手術実績】

全手術件数・・・198件

| (主要手術) | 実績 | コメント |
|--------------|-----|--|
| 開頭動脈瘤クリッピング術 | 28件 | 頭蓋骨を開けて、破裂した動脈瘤もしくは破裂前の動脈瘤の根元を専用のクリップで直接遮断します。 |
| 開頭血腫除去術 | 13件 | 頭蓋骨を開けて、脳の中の血腫を取り除き、脳への圧迫を防ぎます。(試験開頭含む) |
| 開頭腫瘍摘出術 | 6件 | 頭蓋骨を開けて、脳の中の腫瘍を取り除きます。 |
| 頭蓋内微小血管減圧術 | 6件 | 脳神経を圧迫する脳動脈を移動、減圧させることで顔面の強い痛み(三叉神経痛)やピクツキ(顔面痙攣)を治す手術です。 |
| バイパス術等 | 10件 | 脳動脈の狭窄・閉塞による血流低下に対して、頭皮動脈などを用いたバイパス術を行います。 |
| 経皮的脳血栓回収術 | 13件 | カテーテルを用いて脳血管を閉塞している血栓を除去する手術です。 |
| 頸動脈内膜剥離術 | 29件 | 細くなった頸動脈を直接切開し、動脈硬化で厚くなった血管壁(内膜)を取り除く手術です。 |
| 穿頭血腫除去術 | 45件 | 局所麻酔下で頭蓋骨に小さな穴をあけて、血腫を除去します。 |
| 水頭症手術 | 18件 | 脳室やくも膜下腔に貯留した脳脊髄液を、体外または腹腔、心臓内に排出させる方法です。 |
| 脊椎関連手術 | 11件 | 脊椎の前方あるいは後方よりアプローチし、病変を除去あるいはその圧迫を解消する手術です。 |

令和3年度 セーフティマネジメント部会の活動報告



令和3年度の医療安全活動と多職種によるセーフティマネジメント部会3チーム活動の報告を行いました。

—— 医療安全活動の報告 ——

医療安全活動は、「積極的かつ早期報告が医療安全・病院の質向上につながる」「重大事故を減らし医療の質を高める」ことを目的に取り組んでいます。



令和3年のインシデント報告は431件(転倒転落115件、ドレーンチューブ78件、薬剤76件)ありました。

いずれも観察強化や安全確認の検査を行い、重大な医療事故を防ぐことができました。このような報告は重大な医療事故を防ぐと言われ、年間350件の提出を目標に取り組んでいます。

—— 薬剤防止対策チーム ——

誤薬に関する取り組みとして、与薬に関する手順書を作成し関係部署へ周知しました。令和2年度と令和3年度の与薬に関する報告を活用後、カテゴリ別に比較検討したところ、「患者間違い」「処方・調剤間違い」「重複投与」「配薬忘れ・未与薬」の報告は減少しました。今後も手順書が活用され、作業統一が継続できるよう引き続き活動していきます。



与薬関連の事故防止のために

- 配布されている手順書を活用しよう
- 忙しいほど指差し確認を実践しよう
- 6つの Right(正しい)を意識しよう
 - ・ 正しい患者さんであるか
 - ・ 正しい薬であるか
 - ・ 正しい量であるか
 - ・ 正しい方法であるか
 - ・ 正しい時間であるか
 - ・ 正しい記録であるか

—— 転倒転落防止対策チーム ——

転倒転落報告事例の情報収集や、院内ラウンドにより転倒転落につながる環境要因のリスクを減らすように働きかけています。令和3年の報告書やその他のデータから当院における転倒につながる危険因子を検討し、今後の転倒・転落防止に向けて当院が取り組むべきことを発表しました。

報告書の内容から、転倒リスクは①病棟内②発見③危険度が高い④運動機能低下・認知機能低下⑤転倒転落歴ありなどの方が高いと考えられました。



転倒・転落防止対策としては、

- 入院時・入棟時から危険度に合わせた介助方法、環境設定等を多職種連携のもと個別的な対策立案を行う
- 転倒後の再転倒防止策を多職種にて立案し、スタッフ間の情報共有を徹底する



—— 5S・KYT(危険予知トレーニング)活動チーム ——

年間チーム目標「5S活動の意識づけの強化と改善箇所の維持」とし、月1回の院内ラウンド実施、改善箇所の指摘と改善アドバイスや啓発を行い自分たちで改善に向かうようフォローしました。

新しい取り組みとしては、院内の危険な場面を委員会や医療安全情報で周知、危険と思われる事案を共有し、事故の予防に活かす「KYT活動」を行いました。周知方法の工夫として、「医療安全情報」を不定期発行し、他部署の取り組みや改善内容を共有できるようにしたところ、職員の意識づけに貢献できました。毎月の院内ラウンドの成果として少しずつ院内が清潔できれいな施設になっているように感じています。次年度は、引き続き毎月のラウンドや情報共有のツールを活かし自発的な5Sの実践をフォローしつつ、KYTの取り組みを行っていきます。



—— 医療安全推進週間について ——

厚生労働省では11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。当院ではこの週に医療安全研修を計画し、医療安全の取り組みを紹介できるよう検討しています。

通所リハビリテーションのご案内

当院通所リハビリテーション(デイケア)は、利用者様やその御家族が毎日笑顔で過ごせることを目的とし、機能訓練や健康管理などのサービス提供により、心身機能の向上、自立支援援助、社会的孤立感の解消、御家族の負担軽減を図っています。

◆ 当院通所リハビリテーションは、次のような方にお勧め致します ◆

- リハビリを集中的に行いたい
- 退院後も継続してリハビリを行いたい
- 自分に合った体力増進を行いたい
- 外出の機会を作りたい

見学・無料体験
受付中!



◆ご利用いただける方◆

- ・要介護認定を受けている方(要支援1~2、要介護1~5)であれば、どなたでもご利用いただけます。

ご利用者様
募集中!



◆1日のスケジュール

| | |
|-------|---|
| 8:00 | 送迎 ご自宅や居住施設へ専用の送迎車でお迎えに伺います。 |
| 9:20 | 病院到着、水分補給 スタッフが血圧、脈拍、体温等の健康チェックを行います。 |
| 10:00 | 運動 理学療法士や作業療法士が個別に筋力トレーニングやバランス訓練、歩行練習等を行います。 治療 電気や牽引など機械を使った治療や、徒手によるマッサージを行います。 |
| 12:00 | 昼食 ご利用者様に応じた食事形態の対応や、高血圧症や糖尿病など治療食の提供も可能です。 |
| 13:00 | 選択プログラム ① 陶芸(水・木曜日) ② DVT 体操(深部静脈血栓予防のための体操) ③ 能力トレーニング、レクリエーション ④ 立ち上がり等の集団訓練 |
| 15:30 | 送迎 ご自宅、居住施設までお送り致します。 |

(※1~2時間や2~3時間など、短時間の御利用も可能です。
食事に関するご相談は、管理栄養士がお受け致します。)

ご利用についての御相談、介護認定をお持ちでない方のご利用方法など、お気軽にご相談下さい。

通所リハビリテーション(0994-42-7750)・地域医療連携室(0994-44-1260)

2階病棟紹介

2階病棟は、病床数34床の急性期病棟です。

脳卒中をはじめ脳腫瘍、頭部外傷、その他けいれんや脳神経障害などの機能的疾患に対応し、緊急入院、発症直後や手術前後の急性期の治療をしています。また、麻痺や意識障害を抱え自分の意思を表すことが困難な方が多く、私たちは「患者様の人権を尊重し安心安全な看護を目指します」の看護理念の基、日々患者様の個性に合わせた看護をする様に努めています。

急性期治療を終えると退院となりますが、リハビリ継続を必要とする患者様は回復期リハビリテーション病棟へつないでいます。

～急性期病棟の様子～

★観察室★

観察室では、緊急入院や発症後間もない患者様、術前術後の患者様が入院しています。症状が安定するまで安心して治療が受けられるように看護や介護をさせていただいています。



★多職種カンファレンス★

入院1週間以内には医師、看護師、理学療法士、薬剤師、ソーシャルワーカーによるカンファレンスを実施しています。患者様、ご家族の意思を尊重しながら患者様の今後の生活をイメージし、方向性を決めていく為、多職種で意見を出し合っています。



リモート面会のご案内

電話での事前予約をお願いします

■ 平日：月曜日～金曜日

■ 時間：15時～16時の間【1回15分程度でお願いしています】

新入職員入社式、オリエンテーションを行いました。



4月1日、9名の新入職員を迎え、入社式が行われました。昨年同様、新型コロナウイルスの感染収束が見えない中での入社式となりましたが、理事長、院長挨拶の後、代表者へ辞令が交付されました。

新卒職員は、これからの病院勤務に対する不安や期待もあり、若干固い表情でもありましたが、当日よりオリエンテーションや研修が開始され、熱心に耳を傾けていました。早く職場に慣れて、患者様の力に少しでも役立てるよう、一緒に頑張っていきましょう。



病院概要説明



院内設備を見学



予防着の脱着

新入職員紹介

所属 薬剤科

氏名 南 裕司



趣味・特技 (とてもべたな) バドミントン (始めたばかりの) ミニチュア作り

ひとこと

薬剤師としてスタートをきった鹿屋で、また働けることになりました。がんばりますので、よろしくお願いします。

所属

2階 看護師

氏名 切通 愛莉



趣味・特技 食べること、映画鑑賞、書道

ひとこと

患者様の力に添えられるように日々努力し、笑顔で元気に頑張ります！

所属

2階 看護師

氏名 宮田 千裕



趣味・特技 水泳、筋トレ、読書

ひとこと

分からないことだらけですが、精一杯頑張ります。

所属

2階病棟 看護助手

氏名 牧野 栄子



趣味・特技 映画鑑賞、買物

ひとこと

皆さんとコミュニケーションとりながら、頑張っていきたいです。

所属 3階病棟 看護師

氏名 内倉 苺菜



趣味・特技 音楽を聞くこと、ショッピング

ひとこと

常に笑顔で優しく、患者様を元気にできるような看護師になれるよう頑張りたいです。ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いします。

所属

リハビリテーション室 作業療法士

氏名 岩元 悠晟



趣味・特技 カフェ巡り、筋トレ、映画鑑賞、料理

ひとこと

分からないことや不安なことも多いですが、早く慣れて病院に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

所属 居宅介護 支援事業所

氏名 橋口 正二



趣味・特技 マラソン、キャンプ

ひとこと

退院支援等で連携させて頂く場面が多いと思います。ご助言等頂きながら、在宅支援、地域支援に尽力出来るように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

所属

事務部

氏名 古里 千佳



趣味・特技 買物、猫と遊ぶ お酒、たま〜に凝った料理を作る

ひとこと

御迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします!!

火災訓練について

4月21日(木)火災訓練を実施しました。今回は2階病棟の夜間を想定した総合訓練でしたが、コロナの影響で規模を縮小して実施しました。

まず2階病棟職員と関係者で実際の消防設備表示の意味を学習し、避難経路、避難設備の使い方など現場で確認しながら、火災が起こった際の避難のシミュレーションを行いました。初期消火の重要性、初期消火失敗からの避難誘導への切り替えタイミング、避難の際の注意点また火災の際のリーダーの重要性など学びました。

通報訓練では全員の前で実際の通報のやり取りをシミュレーションしました。消防署とのやりとりはどんな内容なのか、どんな情報が必要とされるかなど共有することができました。とっさの際に必要な情報がなんなのかを事前に知っておくことで、迅速な通報につながることがわかりました。

避難訓練が終わると次に消火訓練を参加者全員で行いました。消防設備管理業者の方にご協力いただき、屋内消火栓の取り扱い、消火器の取り扱いについてレクチャーを受けたあと訓練用の消火器で消火訓練を行いました。

規模縮小での火災訓練実施となりましたが、参加者全員真剣に取り組んでいました。夜間を想定した訓練ですので、必要最低限のスタッフで初期消火から避難誘導まで行わなければなりません。個々人の責任が重大だということが深く理解できた避難訓練となりました。



消防設備表示について



避難設備の使用について

防火管理者 永山達宏



消火器の取り扱い



屋内消火栓の取り扱い



通報訓練



消防設備管理業者より説明

診療予約についてお知らせ

かねてより診療時には長時間お待たせして、大変ご迷惑をおかけしております。

当院では、外来での待ち時間を極力短くするために、再来診察のみを予約制としております。外来診療終了時に次回の受診予約を入れますので、医師と相談の上、日時を決めて下さい。その際、診療予約票をお渡ししますので、次回の診療時にご持参ください。

なお、担当医師の希望がありましたら、遠慮無く外来看護師へ声をかけてください。

病院長

○当院では下記の通り曜日別に外来診療担当医が変わります。

外来診療予定表

(2022.4.1)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|----|----|----|----|----|--|
| 外来診療担当医師 | 徳田 | 徳田 | 諸木 | 徳田 | 徳田 | ます にて 受付 前の 月間 予定 表 し |
| | 諸木 | 諸木 | 橋口 | 諸木 | 諸木 | |
| | 橋口 | 田中 | 田中 | 橋口 | 橋口 | |
| | 舎川 | 原田 | 舎川 | 原田 | 舎川 | |

*手術、検査などにより変更される場合があります。不明な点がございましたら、受付へおたずね下さい。

医療法人 秋津会

徳田脳神経外科病院

通所リハビリテーション

とくだ居宅介護支援事業所

〒893-0011 鹿児島県鹿屋市打馬1-11248-1
TEL.0994-44-1119(代)/FAX.0994-40-3155
<https://tokuda-hp.com/>

診療時間 平日 午前8:30~12:00 午後2:00~5:30
土曜 午前8:30~12:30 (土曜日午後・日曜日・祝祭日は休診)

※救急は、24時間365日 いつでも対応いたします。

面会 新型コロナウイルス感染症予防対策のため、入院患者様との面会は禁止です。

洗濯物やお荷物の受け渡しが必要な場合は、スタッフがお預かり致します。
【荷物受取時間】10:00~17:00 (平日月~金曜日)※緊急入院の場合は適宜対応